

万葉会

避難所の暑熱対策は大丈夫？

中村　和広

Q 大規模災害時の避難所ともなる体育館への空調設備の早期整備について、
①全中学校に、より早く整備を完了させる考えは。
②小学校体育館について、具体的な整備計画を策定し、できる限り早期に整備を開始しては。
③空調設備の無い体育館で避難生活を続ける市民の暑熱対策をどのように行うのか。
④地域の体育館について、大規模改修や施設更新にあわせた整備を含め、空調設備導入の具体的な計画を策定する考えは。

A ①令和8年度に朝桜、五個荘中学校、令和9年度の夏を目標に聖徳、玉園中学校の整備を進めています。船岡、永源寺、愛東中学校については工事を前倒しし、令和9年度末の整備を目標としています。
　また能登川中学校は、令和10年度中に体育館の大規模改修工事とあわせて空調整備を行う計画です。
②令和13年度完了を目標として取り組んでいきます。
③スポットクーラーなどの資機材を活用するとともに、災害時応援協定に基づく事業者などの協力を得ながら、必要な冷房機器などを確保します。
④大規模改修や施設更新の具体的な計画は現時点ではありませんが、計画を作成する際には、空調設備の導入もあわせて計画する必要があると考えています。



今年度に空調が整備される朝桜中学校体育館



東近江市民クラブ

グローバルな人材育成を

青山　孝司

Q 文化やスポーツ、教育などを通じて、国内外の都市同士が親善と相互理解を深める取り組みである姉妹都市交流。
　日本国内では1955年に長崎市と米国のセントポール市が提携したのが最初で、現在は1800を超える自治体で実施されている。
　本市においては、五つの海外都市（アメリカ、カナダ、韓国、中国、スウェーデン）と姉妹都市・友好都市提携を結んでいるほか、一つの海外都市（韓国）と文化交流協定を締結し、親善と相互理解を深めているが、
①若い世代を対象とした使節団交流事業を行う考えは。
②交流が本市にもたらす効果は。

A ①すでに一部の姉妹都市との間で中学生交流を中心とした使節団の派遣や受け入れをしています。
　国際的視野を持った若者の人材育成は重要であると認識していることから、今後も積極的に若い世代の交流事業を展開したいと考えています。
②姉妹都市交流は、市民の国際感覚の育成につながると考えており、特に姉妹都市奨学生の派遣や中学生交流などは国際的視野を持った若者が将来的に地域や国際社会で活躍するグローバルな人材に育つための一助になるものと考えています。



友好親善使節団の交流風景



東近江市民クラブ

まちなかを耕せ

鈴木　則彦

Q 令和8年7月にアル・プラザ八日市店内にオープンした地域若者交流拠点「耕（こう）」について、開設の狙いと、今後の展開は。

A 放課後などに安心して自由に集まることのできる居場所がない高校生・大学生年代の若者に対し、気軽に立ち寄れて充実した時間を過ごせる居場所を提供することが目的です。
　今後は若者の主体性や若者のエネルギーを生かし、市が主催するイベントなどへの積極的な参画を促していきます。

Q 地下水再認識プロジェクトについて、
①プロジェクトを始めた経緯と、本市が目指すところは。
②国や県に対し、森林再生について問題提起をする考えは。

A ①農業や産業で多くの地下水を利用しており、今後も需要の伸びが見込まれることから、まず本市の地下水の全体像を把握する必要があると考えています。目指すのは、その源泉である森林環境や水循環の仕組みを明らかにし、「地下水は有限かつ貴重な資源である」との認識を地域住民・事業者・行政が一体となって共有することです。
　これを契機として、森林保全や水源涵養（かんよう）に向けた具体的な取り組みへの展開を図っていきます。
②国や県に対して、荒廃森林の再生や保水力向上に資する施策の推進について継続的に働きかけていきます。



東近江市地域若者交流拠点「耕」



東近江市民クラブ

災害時の生活用水の確保は

奥村　忠彦

Q 災害時には、飲料水だけでなく、トイレの洗浄や清掃、洗濯、衛生管理などに使う生活用水も必要となるが、
①断水時の生活用水を確保するため、井戸や湧水などの地下水資源を防災上の資源としてどのように位置付けているのか。
②災害時には、道路が寸断され、地域間の移動が困難になる可能性がある。人口分布や避難所の配置を踏まえ、身近な場所で生活用水を確保できる体制が必要と考える。

A ①災害による断水時には、トイレの洗浄や清掃などに使用する生活用水の確保は極めて重要です。本市では、地下水資源を飲料水ではなく生活用水として使用することを基本としています。非常災害用井戸の登録に加え、民間事業者からの寄付による浅井戸を指定避難所に30カ所整備するなど、断水時の生活用水を補う地域の重要な防災資源と位置付けています。
②非常災害用井戸と指定避難所に設置されている浅井戸は、合わせて98カ所あります。内訳は能登川地区31カ所、愛東地区22カ所、湖東地区19カ所、八日市地区15カ所、蒲生地区5カ所、永源寺地区と五個荘地区が各3カ所で、地域によって登録数に差が生じています。



避難所に設置されているポンプ